



いわきの子

〈学校教育目標〉「ふるさとに誇りをもち たくましく生き抜く 子どもの育成」

岩城小学校
学校便り
第46号
R5.12.4
文責：佐藤

おはようございます

12月1日（金）の朝は今シーズン最も寒い朝でしたが、いつものように、菅原**様、中村**様、小林***様、阿部**様、那須***様、佐藤**様、加藤***様、三浦**様、齋藤**様があいさつ運動にご協力くださいました。ありがとうございました。

ジャンパーやスキーウエアを着て、暖かい毛糸の帽子や手袋を身に付けてくる子どもたちがほとんどです。しかし、足元をを見るとまだ普通の運動靴を履いている子どもがいます。冷たいだけでなく、1日の中でお天気が変わって雪が積もったり凍結したりするすると危険ですので、身の安全を守るために防寒靴をお勧めします。季節に応じた服装や生活用品などについて話題にしてみてください。



5年 塩分教室

11月29日（水）の5校時、5年生を対象とした「塩分教室」を行いました。講師として由利本荘市栄養士鈴木様、保健師渡辺様をお招きして、普段口にする物にどれくらいの塩分が入っているかクイズ形式で

考えたり、病気にならないための摂取量や摂り方について教えていただいたりしました。普段は見過ごしてしまう成分表示に目を通して、実際にお菓子やカップラーメンにどれくらいの塩分が入っているのかを確認することもできました。また、学校給食では1日の摂取量6gの1/3（2g）に塩分を控えていることなども教えていただきました。

子どもたちはこれから冬休みを迎えることになりますが、自分が口にする物の中にどんな物が入っていて、塩分や糖分がどれくらいなのか関心をもてるとよいと思います。振り返りの中には、思ったよりも普段塩分を多く摂ってる、外食の時に気を付けたい、学んだことをお家の人にも教えたいというような内容がありました。体のことを考えて塩分を控えめにできると理想的ですね。まさに「いのちを守る岩城小」です。



避難訓練・防犯教室～いのちを守る岩城小～

11月30日（木）の3・4校時、由利本荘警察署員、スクールサポーターをお招きして、避難訓練・防災教室を行いました。今回の避難訓練は、畑の方から1階の教室に不審者が侵入したという想定で、教師は子どもたちの安全を確保しながら避難させる体制の確認、子どもたちは放送や近くの大人の指示をしっかりと聞いて安全に避難することをねらいとしました。

3校時が始まって間もなく、3年生の鈴木**さんが担任の指示に従って職員室に連絡を入れてくれました。1階の下学年は不審者から距離をとり危険回避のため場所を移動し、その後全校に体育館への避難指示の放送が入りみんな真剣な表情で素早く避難することができました。警察の方からの講評でも、ふざける人がいなくてとても立派だったと何度も褒めていただきました。いざという時のために、このように訓練に参加できることが何よりも大事ですね。



感想発表では、3年生の伊藤**さんが「ただ逃げればよいだけでなく、みんなに正しく情報を伝えることも大切だと分かりました。」、6年生の今野**さんが「自分の命だけでなく、他人の命も考えて行動しなければいけないと思いました。」と発表してくれました。2人の発表内容も立派で感心させられました。



防災教室では、「熊の危険性と対処法」についてDVDを視聴し、下学年は「ゲームの使用に関する講話」、上学年は「SNSの利用に関する講話」でした。熊と出会ってしまったときの避難の仕方やお腹や頭部を守る体勢についても詳しく学習しました。

ゲームやSNSについての講話では、署員の方が「①市内の小学生は、ネットは8時までという約束があります。きちんと約束を守るようにしてほしいです。家の人との約束、学校・地域の約束などいろいろありますが、家族との約束を守れていますか？それを守れない人は社会の約束が守れるようにはなりません。社会の法律違反につながっていく人が多いです。②困ったことは一人で抱え込まないで、早く大人に相談してください。」と子どもたちに呼びかけてくださいました。



各家庭ではどのようなルールを作っていますか？そのルールを子どもたちは守ることができていますか？ぜひ、話題にしてみてください。